

予算決算常任委員会委員長報告

去る9月1日及び4日の本会議において、議長から本委員会に付託されました案件は、議案12件です。議案につきましては、各分科会におきまして慎重な審査を行い、各分科会長から報告を受けた後、報告に対する、質疑、討論、採決を行いました。以下審査の経過と結果について順次報告いたします。

記

1 審査年月日 令和5年9月21日(木)

2 場 所 議 場

3 出席委員 小久保博雅、金森すみ子、毛呂一夫、斉藤 章
永井 司、青野康子、高橋 誠、工藤日出夫、
大嶋達巳、村田裕子、桜井 卓、保角美代、
諏訪幸男、岡村有正、湯沢美恵、中村洋子、
今関公美、島野和夫、現王園孝昭

4 審査結果

「議案第51号」令和4年度北本市一般会計歳入歳出決算の認定については、賛成多数により認定すべきものと決定しました。

「議案第52号」令和4年度北本市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定については、賛成全員により認定すべきものと決定しました。

「議案第53号」令和4年度北本都市計画事業久保特定土地区画整理事業特別会計歳入歳出決算の認定については、賛成全員により認定すべきものと決定しました。

「議案第54号」令和4年度北本市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定については、賛成多数により認定すべきものと決定しました。

「議案第55号」令和4年度北本市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定については、賛成全員により認定すべきものと決定しました。

「議案第56号」令和4年度埼玉県央広域公平委員会特別会計歳入歳出決算の認定については、賛成全員により認定すべきものと決定しました。

「議案第57号」令和4年度北本市公共下水道事業会計決算の認定については、賛成全員により認定すべきものと決定しました。

「議案第66号」令和5年度北本市一般会計補正予算（第5号）については、賛成全員により原案のとおり可決すべきものと決定しました。

「議案第67号」令和5年度北本市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）については、賛成全員により原案のとおり可決すべきものと決定しました。

「議案第68号」令和5年度北本都市計画事業久保特定土地区画整理事業特別会計補正予算（第2号）については、賛成全員により原案のとおり可決すべきものと決定しました。

「議案第69号」令和5年度北本市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）については、賛成全員により原案のとおり可決すべきものと決定しました。

「議案第70号」令和5年度北本市介護保険特別会計補正予算（第1号）については、賛成全員により原案のとおり可決すべきものと決定しました。

◎「議案第51号」について

初めに、総務文教分科会会長報告の内容について、主な質疑を申し上げます。

（1）県支出金のうち県補助金に関して、「スクール・サポート・スタッフ配置事業費補助金について、各校何名のスタッフに充てられた補助金なのか」と質疑がありました。

（2）寄附金のうち一般寄附金に関して、「一番寄附額の多い銀座英國屋仕立券の決算が2,471件、10億6,109万円となっており、平均すると1件当たり約43

万円で、ポータルサイトにおける区分けが1万円から300万円と12種類ほどあるが、実際に寄附されたボリュームゾーンについて」質疑がありました。

(3) 総務費のうち情報管理費に関して、「AI・RPA事業について、作業時間の短縮やミスが少ない正確で的確な処理の実現とあるが、具体的な業務内容と成果について」、「AI-OCRを活用した紙媒体の電子データ化について、導入前に比べて令和4年度の成果はどうだったのか」と質疑がありました。

企画財政費に関して、「ふるさと納税11億1,018万2,000円の伸び率が22.3%、経費を除いた残額6億3,610万円の伸び率が18.2%、収入よりも利益の伸び率が低いということは経費の伸び率が高かったことを意味するが、その経費の中でも大きな割合を占めるポータルサイトの委託料1億353万6,029円の伸び率が25.8%とかなり高くなっている要因について」、「ふるさと応援基金の取崩額3億5,103万2,000円について、どういった考えの基、各事業に充当されたのか」と質疑がありました。

(4) 教育費のうち小学校費及び中学校費に関して、「GIGAスクール構想の実現関連経費のうちタブレット等修繕料について小学校費に255万5,790円、中学校費に186万3,950円とあり、前年度比大幅増となっている理由と修繕の内容について」質疑がありました。

中学校費に関して、「学校水泳指導民間委託料について、令和4年度は各学年で4日間実施ということだが、1日あたりどれくらいの授業時間なのか」等の質疑がありました。

次に、健康福祉分科会会長報告の内容について、主な質疑を申し上げます。

(1) 分担金及び負担金のうち負担金に関して、「収入未済額及び不納欠損額の前年度との比較と、収入未済を減らすための取組について」質疑がありました。

(2) 諸収入のうち雑入に関して、「生活保護法第78条徴収金の不納欠損額が10件で555万2,460円ということだが、特に金額的に大きいものと不納欠損にな

ってしまった状況について」質疑がありました。

(3) 民生費のうち社会福祉費に関して、「生活困窮者自立支援法に基づく業務について、困窮者新規相談件数が199件ということだが、新型コロナウイルス感染症が例年と比較してどう影響したか」、「保健と介護予防の一体的実施事業に関して、糖尿病性腎症重症化予防事業の参加勧奨が101人、保健指導の数が11人と、前年度と比べ大幅に減少している要因について」等の質疑がありました。

(4) 衛生費のうち保健衛生費に関して、「産婦健康診査の目的と、健診の結果について」、「子宮頸がんワクチンのキャッチアップ及び定期の接種状況について」質疑がありました。

次に、建設経済分科会会長報告の内容について、主な質疑を申し上げます。

(1) 総務費のうち地域振興費に関して、「自治会集会施設整備事業等補助金のうち、集会施設の新築として勝林公民館に対して1,000万円を交付しているが、自治会の持ち出し分を含めた算定根拠について」質疑がありました。

(2) 衛生費のうち塵芥処理費に関して、「北本市ごみ減量新施策の検討に係る調査業務委託料438万9,000円について、どのような調査を行い、どのような成果があったのか」と質疑がありました。

(3) 土木費のうち南部地域整備費に関して、「南部地域整備基金積立金について、令和4年度は1億2,042万1,710円を積み立てて残高が約12億円になっているが、目的基金であるにもかかわらず、南部地域の整備ということが不明確な中で、毎年積み立てを行っている意味をどう考えているのか」と質疑がありました。

街路事業費に関して、「仲仙道事業負担金1,890万8,785円について、令和4年度はどのような事業が行われたのか」と質疑がありました。

(4) 消防費のうち防災費に関して、「第43回九都県市合同防災訓練では市として904万7,280円の持ち出しがあったが、それに対して補助金等の財源はあったか、また、雨天のため実施できなかった訓練があったか」と質疑がありました。

た。

総務文教分科会会長報告に対し、「工事請負契約において市内事業者の平均落札率が特に高い理由について」、「スクールサポートスタッフが市内11校中4校しか配置されていないが、残り7校に配置されていない理由と配置されていない学校での対応について」、「中学校の4・3・2制推進講師が5人から2人に減った理由とどういった対応をしたのか」、「学校の図書室について、国が5か年計画を定め地方財政措置をしたうえで、市が学校図書館図書標準の達成、計画的な図書の更新、新聞を複数紙配備することになっているが、こういった措置がされているのか」と質疑がありました。

健康福祉分科会会長報告に対する質疑はありませんでした。

建設経済分科会会長報告に対し、「都市公園の指定管理者に関して、前年度比で指定管理料は増額となり収支赤字は大幅減となっているが、光熱水費が大幅増、一方で事業費は半減という状況で必要な事業は実施されたのか」と質疑がありました。

本案に反対の討論が1件ありました。

◎「議案第52号」について

健康福祉分科会会長報告に対する質疑はなく、討論もありませんでした。

◎「議案第53号」について

建設経済分科会会長報告の内容について、主な質疑を申し上げます。

(1) 事業費のうち土地区画整理費に関して、「事業計画見直しに係る測量業務委託807万7,300円の内容について」質疑がありました。

建設経済分科会会長報告に対し、「例年国からの交付金がなかなかつかないことが影響して事業進捗がよくない状況であることを踏まえ、令和4年度の国への交付金申請額と内示額について」質疑があり、討論はありませんでした。

◎「議案第54号」について

健康福祉分科会会長報告の内容について、主な質疑を申し上げます。

(1) 保険給付費のうち療養諸費に関して、「一般被保険者の療養給付につい

て、件数は前年度と比べて減っているが、医療費は増額している要因について」
質疑がありました。

(2) 保健事業費のうち特定健康診査等事業費に関して、「特定健康診査の受診率について、県の平均と北本市の県内の順位、また、受診率向上のためにどのような取組をしたか」と質疑がありました。

健康福祉分科会会長報告に対する質疑はなく、本案に反対の討論が1件ありました。

◎「議案第55号」について

健康福祉分科会会長報告の内容について、主な質疑を申し上げます。

(1) 保険給付費のうち介護サービス等諸費に関して、「居宅介護サービス等給付事業経費について、全体的に大きな増減や傾向はあるか」と質疑がありました。

健康福祉分科会会長報告に対する質疑はなく、討論もありませんでした。

◎「議案第56号」について

総務文教分科会会長報告に対する質疑はなく、討論もありませんでした。

◎「議案第57号」について

建設経済分科会会長報告の内容について、主な質疑を申し上げます。

(1) 下水道事業収益的収入のうち下水道使用料に関して、「下水道使用料決算額5億4,838万1,313円について、予算額と比べ1,497万6,313円の増となった要因は」と質疑がありました。

建設経済分科会会長報告に対する質疑はなく、討論もありませんでした。

◎「議案第66号」について

初めに、総務文教分科会会長報告の内容について、主な質疑を申し上げます。

(1) 国庫支出金のうち国庫補助金に関して、「今回の補正計上で令和5年第2回北本市議会定例会において説明のあった新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の限度額1億5,141万2,000円全てを事業に充当できたのか」と質疑がありました。

(2) 総務費のうち総務管理費に関して、「公共施設整備基金積立金1億円について、「今後40年間で公共施設の延床面積を50%削減する」という北本市公共施設マネジメント実施計画もあることから、こういった想定で積算したのか」と質疑がありました。

(3) 教育費のうち小学校費及び中学校費に関して、「市外就学対象者分としての学校給食管理運営経費が小学校費、中学校費合わせて895万3,000円補正計上されているが、対象者数とその対象者への周知を含めた具体的なスケジュールについて」質疑がありました。

社会教育費に関して、「文化センター施設維持管理経費1,197万円について、レストランの屋根防水工事を行わなければならない理由と施設点検委託料の調査内容について」質疑がありました。

次に、健康福祉分科会会長報告の内容について、主な質疑を申し上げます。

(1) 民生費のうち社会福祉費に関して、「英霊塔改修事業補助金の金額の積算根拠について」質疑がありました。

児童福祉費に関して、「保育士就職奨励金において、公立保育園を対象外とした理由と、積算の根拠について」質疑がありました。

(2) 衛生費のうち保健衛生費に関して、「初回産科受診料助成金の内容と、積算根拠について」質疑がありました。

次に、建設経済分科会会長報告の内容について、主な質疑を申し上げます。

(1) 衛生費のうち塵芥処理費に関して、「一般廃棄物処理施設整備基金の積立金を今回5,000万円計上した経緯と残高について」質疑がありました。

各分科会会長報告に対する質疑はなく、討論もありませんでした。

◎「議案第67号」について

健康福祉分科会会長報告に対する質疑はなく、討論もありませんでした。

◎「議案第68号」について

建設経済分科会での質疑及び分科会会長報告に対する質疑はなく、討論もありませんでした。

◎「議案第69号」について

健康福祉分科会会長報告の内容について、主な質疑を申し上げます。

(1) 繰入金のうち他会計繰入金に関して、「出産育児一時金繰入金を減額する理由について」質疑がありました。

健康福祉分科会会長報告に対する質疑はなく、討論もありませんでした。

◎「議案第70号」について

健康福祉分科会会長報告に対する質疑はなく、討論もありませんでした。

なお、各分科会会長から報告のあった内容の詳細につきましては、各分科会会長報告のとおりですので、御覧いただきますようお願いいたします。

以上報告いたします。

令和5年9月26日

予算決算常任委員会
委員長 現王園 孝 昭

北本市議会議長 滝 瀬 光 一 様